

アクションプラン間のつながり、WSでのアイデア※

本構想におけるアクションプランは、大きく3つのテーマに関連し、それぞれは次のような関係性をもっています。さらに、森づくり市民ワークショップで出されたアイデアや、今後検討が必要な事業などを加え、本構想で取り組むべき課題等をキーワードベースでまとめました。

※WS:森づくり市民ワークショップ



SDG4

SDGs (持続可能な開発目標) への取組

BLUE
FOREST
BLUE
OCEAN

BLUE FOREST BLUE OCEAN

本構想とSDGsの関係について整理しました。
本構想が大切にしている3つのテーマと各アクションプランを具現化していくことによって様々なSDGsに貢献することができます。



テーマ	No	アクションプラン	SDGsの目標													
			3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	17	
			すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	パートナーシップで目標を達成しよう	
森づくり	1	河川環境保護のための森林整備				○						○	○	○	○	
	2	自然科学的根拠に基づく森林ゾーニング							○			○	○	○	○	
	3	再造林の促進				○						○	○	○		
	4	目標林型に応じた間伐等の施業				○						○	○	○		
	5	広葉樹林の森林整備、利用促進										○	○	○	○	
	6	里山林の整備										○	○	○	○	
	7	テストフィールドとしての市有林の活用			○	○		○	○			○	○	○	○	
	8	生物多様性の保全											○	○	○	
	9	環境先進企業とすすめる協働の森づくり										○	○	○	○	
	10	林道、作業道の延伸、維持修繕						○	○							
	11	森林経営管理制度に基づく森林整備				○		○				○	○	○		
	12	森林経営計画策定の推進、長期施業契約の締結促進				○		○				○	○	○		
	13	林業事業体の労働環境改善、安全対策の推進、魅力の発信	○		○			○	○						○	
	14	野生動物との共存											○	○	○	
木づかい	15	安芸市産材の活用を含めたサプライチェーンの構築						○	○	○	○				○	
	16	安芸市の街並みと暮らしを豊かにする木材(素材)利用						○	○	○	○				○	
	17	木質バイオマスエネルギーの利活用による脱炭素化の取組					○	○	○	○	○				○	
	18	民間事業者による商品開発の推進						○	○		○				○	
	19	子どもたちの感性を育む木育の推進		○	○										○	
	20	特用林産業の振興					○	○						○	○	
	21	公共建築物への木材利用促進						○	○	○	○				○	
まちづくり	22	東山森林公園のリニューアル	○	○	○			○		○		○	○	○	○	
	23	安芸市のシンボルとしての妙見山周辺の森林環境の活用	○	○	○			○		○		○	○	○	○	
	24	森林空間や歴史・ストーリーを活用した体験・観光の推進						○		○					○	
	25	安芸市流域森づくり構想の情報発信		○				○	○						○	
	26	森林を通じた教育(森林環境教育)	○	○	○			○		○					○	
	27	森づくりへの市民参加促進、ネットワークづくり		○	○					○					○	
	28	森林保全団体の育成・支援、コミュニティづくり等に係る市民活動への助成			○			○		○					○	
	29	森づくりへの民間ノウハウや資本の活用、地域他産業・異業種との連携						○	○						○	
共通	30	森林で活躍する、森林を通して自己実現できる人づくり			○			○	○						○	

IDGsとSDGs

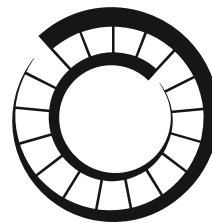
SDGsの実現のためには、これまでになかったような変革が求められていて、変革に必要な要素として、IDGs(Inner Development Goals)と呼ばれる個人の内面成長が重要であるという考え方があります。

個人の意識(IDGs)が社会システム(SDGs)を創り出し、社会システム(SDGs)が個人の意識(IDGs)に影響していくと捉えるもので、本構想も「人づくり」を重視していることから、このIDGsが提唱する考え方を参考にSDGsへの貢献を目指します。

■ IDGsとは

IDGs(Inner Development Goals)とは「内面の成長目標」であり、持続可能な開発のための変革的スキルの基本的な枠組みです。

IDGsはSDGsが提唱する持続可能な開発に向けて、内面のアプローチを強化することを目的としています。



INNER DEVELOPMENT GOALS
Transformational Skills for Sustainable Development

1 自分のあり方	2 考える	3 つながりを意識する	4 協働する	5 行動する
自己との関係性	認知スキル	他者や世界を思いやる	社会的スキル	変化を推進する
内なるコンパス(羅針盤)	クリティカル・シンキング (思考の偏りに気づく)	感謝	コミュニケーション スキル	勇気
誠実・真摯で、本物である	複雑さの認識	繋がっているという感覚	共創スキル	創造性
オープンさと学ぼうとする 意欲・姿勢	パースペクティブ・スキル (視点・見通す力)	謙虚さ	インクルーシブ・マインドと 異文化コンピテンス	楽観性
自分を理解する力	センス・メイキング (意味を見出す力)	共感と思いやり	信頼	粘り強さ
プレゼンス (今ここに在ること)	長期志向とビジョニング		集団を動かすスキル	

出典「IDG Japan Human Radiance Hub」

05

安芸市流域森づくり構想の推進体制

BLUE
FOREST
BLUE
OCEAN

5-1 各プレイヤーの役割と行動指針

安芸市民

- ・森が大好きで、森のことをもっと知り、伝え続けたい
- ・森から海までつながる安芸市ならではの暮らしを楽しむ
- ・自分で、仲間とひとしよに、森の楽しみと価値を作る

行政

- ・森林に関する専門知識を有する
- ・市民、事業体、関係人口のつなぎ役
- ・議論と参加の場を設ける
- ・本構想の推進を資金面、情報面、人材面でサポートする
- ・市有施設を提供、改善する

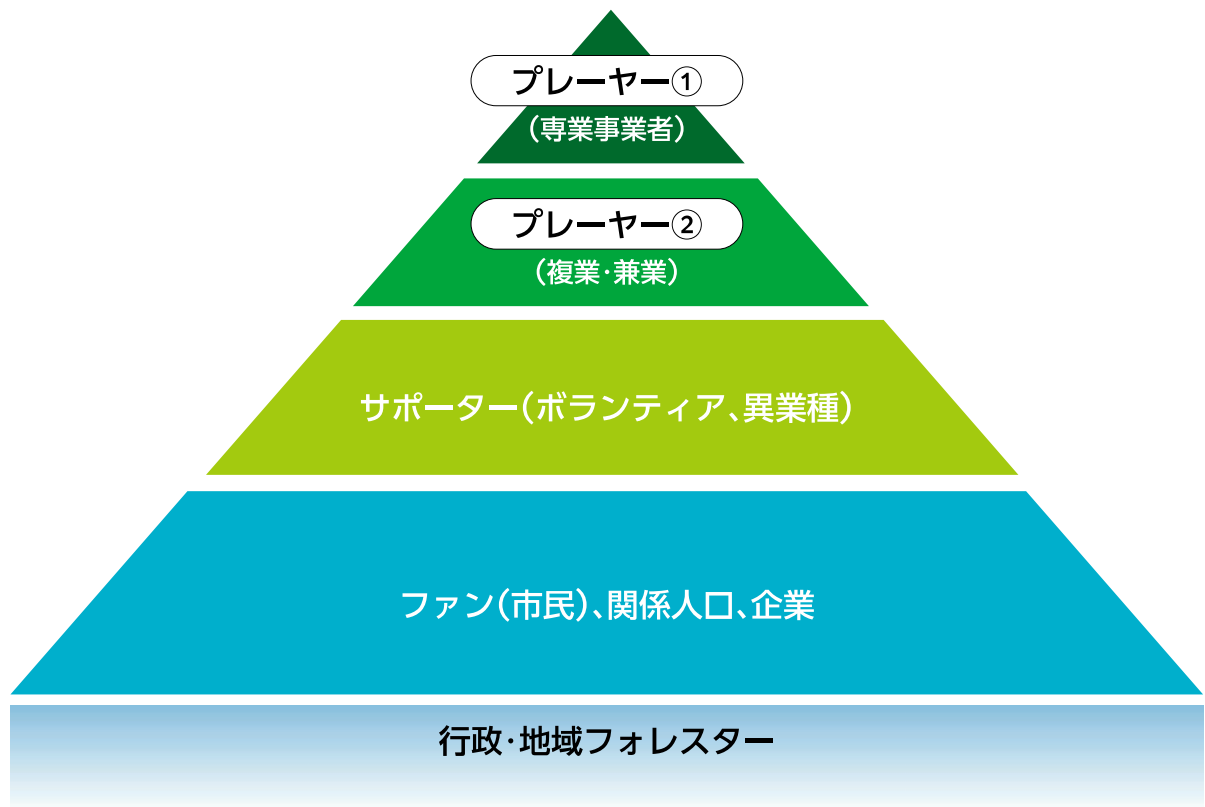
事業者

- ・林業、木材産業の仕事に誇りを持っている
- ・産業の価値、可能性を信じている
- ・時代を読み、常に新しいチャレンジをし続ける
- ・起業する。起業を応援する
- ・担い手を育てる

関係人口

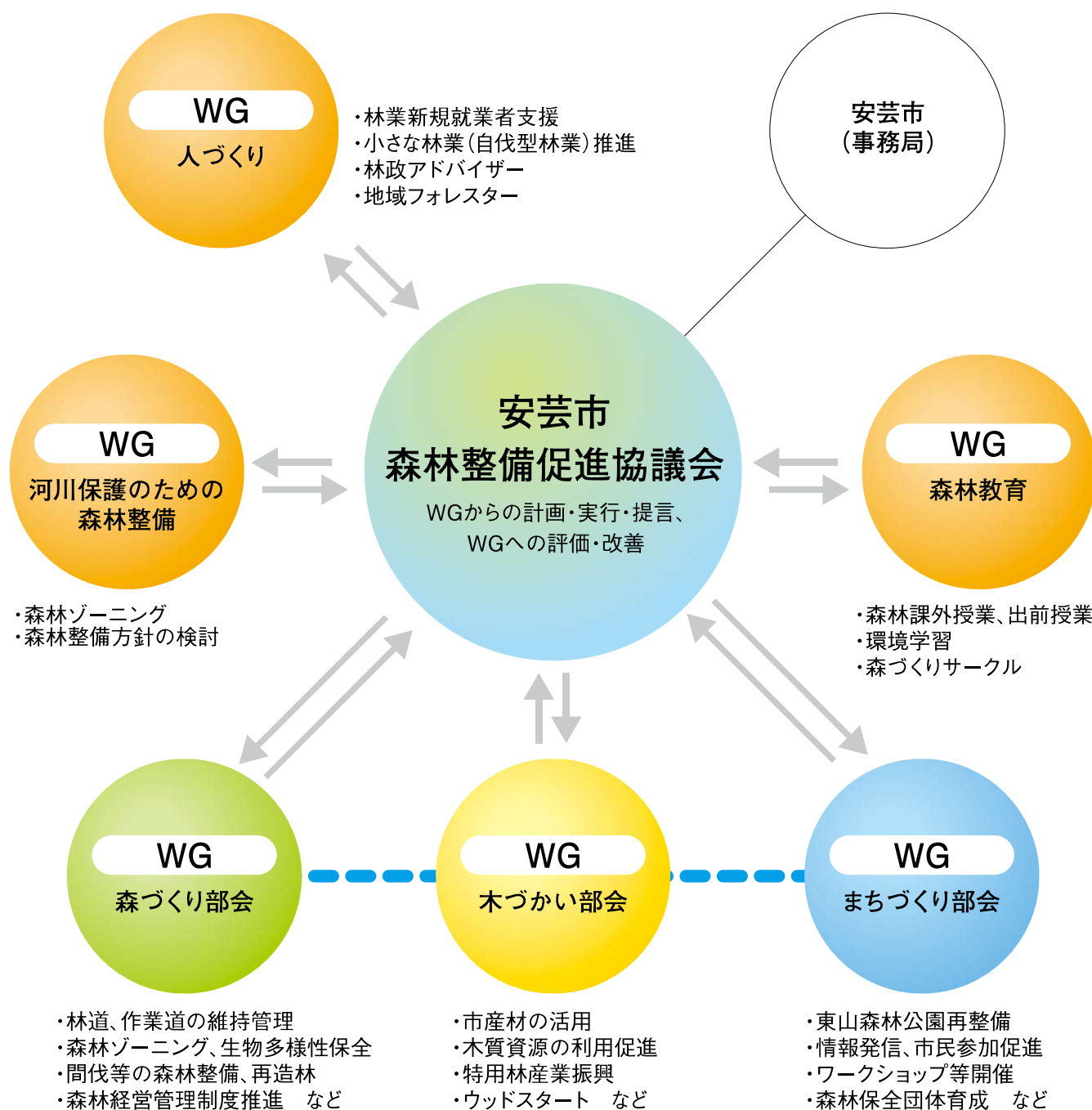
- ・自分、自社の専門ノウハウを森づくりに活かしたい
- ・森林でまちづくりに取り組む本市に注目し応援している
- ・安芸の森を訪れ、遊び、癒され、学びたい
- ・移住や起業でプレイヤーになりたい

■森づくりを担うのはだれか(人起点)



5-2 推進体制

安芸市流域森づくり構想の策定協議を行った安芸市森林整備促進協議会が引き続き、本構想の実施状況、進捗を管理し、評価、見直しを行います。また、本構想を具体化していくにあたり、事業現場や市民、次の時代を担う若者の声を積極的に取り入れ、参画者の輪を広げるため、安芸市森林整備促進協議会委員に加え、関連事業者や市民、高校生、専門家、行政などをメンバーにしたワーキンググループを組織することを検討します。ワーキンググループは各アクションプランを計画・実行し、定期的開催する安芸市森林整備促進協議会において評価・改善を行うことで円滑な取組の実施を図ります。



WG: ワーキンググループ

森づくり = 人づくり

(つながる森づくり人の輪)

■ 森で育まれる環境意識 / 次の世代のプレーヤーを育てる



東山森林公園で行われた森林浴イベント

幼少期に自然の中で過ごすことで心と体のバランスがとれた発達が促され、多くの「不思議」に出会うことで豊かな感性が育まれます。また、小中高生に向けては、気候変動や生物多様性保全など国際社会で議論がされている環境問題に対して自分の意見が持てるようになる森林教育の機会を提供するなど、森が教育に果たす役割は多様です。

■ 林業の担い手が集まる安芸市へ



小さな林業(自伐型林業)体験研修

林業の担い手の1つとして注目される「小さな林業(自伐型林業)」を実践する林業家を育てようと体験研修やステップアップ研修を開催しています。安芸市流域森づくり構想に基づく様々な取組が次々に実施されることで、自分にあった林業を安芸市で始めたいという人材が集まり、実践者同士の相乗効果でさらに本市の森づくりが盛り上がると期待されます。

■ つながる森づくり人の輪



森づくり市民ワークショップ

令和5年8月に開催された森づくり市民ワークショップでは、森林保全団体、建築業、山林所有者、観光業、金融業、地域おこし協力隊員、水産業事業者など多様な人材が集まり、森づくりについての活発な議論が行われました。このような「森づくり人」のつながりを深く、そして広くしていくことが安芸市流域森づくり構想の歩みの原動力になります。

06

安芸市流域森づくり構想策定の過程

安芸市流域森づくり構想策定までに実施した主要な協議・取組
安芸市森林整備促進協議会 委員名簿

BLUE
FOREST
BLUE
OCEAN

安芸市流域森づくり構想策定までに実施した主要な協議・取組

日 程	名 称	主 要 内 容
令和5年7月12日	第1回 安芸市森林整備促進協議会	・新規委員(一般公募)の紹介 ・令和4年度に実施した資源量調査、事業体ヒアリングの結果について ・安芸市流域森づくり構想の策定スケジュールについて
令和5年8月2日	第1回分科会 (森づくり部会)	・森林ゾーニングについて ・林道、作業道整備などの川上の課題について ・担い手対策について
令和5年8月26日	森づくり 市民ワークショップ開催	・木製商品企画のためのアイデア出し ・安芸市の森林・観光資源の発掘 ・森でやってみたいこと
令和5年9月28日	第2回分科会 (まちづくり部会)	・森づくり市民ワークショップの振り返り ・東山森林公園のリニューアルについて ・森と川のつながり、課題整理
令和5年9月29日	伊尾木川上流部での現地調査	生物多様性に関する生態調査
令和5年10月17日	先進地視察(本山町)	・木質バイオマス発電施設の見学 ・構想策定についての本山町との意見交換等
令和5年11月15日	別役地域ブナ林調査	天然ブナ林の現況把握
令和5年11月17日	第3回分科会 (木づかい部会)	・SWOT分析による現状把握と課題解決の検討 ・市産材の活用について ・情報発信の重要性について
令和5年11月30日	第2回 安芸市森林整備促進協議会	・分科会の報告等 ・安芸市流域森づくり構想の構成について
令和6年2月2日	第3回 安芸市森林整備促進協議会	・安芸市流域森づくり構想の名称、ロゴ、スローガンについて ・策定協議を通じて考えたこと、策定への思い ・推進体制について
令和6年3月12日	パブリック・コメント開始	
令和6年3月26日	パブリック・コメント終了	

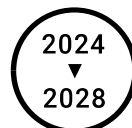
安芸市森林整備促進協議会 委員名簿

氏 名	所属・役職	主な所属部会	備 考
畠 山 敬 介	高知東部森林組合 代表理事組合長	会長、森づくり	
竹 部 文 一	安芸市副市長	全体	
柳 園 和 男	安芸森林管理署 地域林政調整官	全体	
川久保 宜幸	安芸林業事務所 振興課長	全体	
小 松 良 幸	別役林業株式会社 代表取締役	森づくり	
小 松 高 志	有限会社小松林材 代表取締役	森づくり	
有 光 信 一	清水産業株式会社 四国事業所 所長	森づくり	
秋 山 大 介	安芸林産業活性協議会 代表	木づかい	有限会社 秋山木工場 代表取締役
石 建 守	安芸建設協会 会長	木づかい	株式会社 石建組 取締役
公 文 伸 也	安芸商工会議所 常議員	木づかい	株式会社 公文建設 代表取締役
安 岡 浩 史	高知県木質バイオマスエネルギー 利用促進協議会 副会長	木づかい	有限会社 安岡重機 代表取締役
門 田 寛 三	芸陽漁業協同組合 代表理事	まちづくり	
井 上 有 加	株式会社 井上建築 取締役	まちづくり	
仙 頭 杏 美	Hostel 東風ノ家 代表	まちづくり	
近 藤 寿 幸	土佐備長炭 ー ICHI 代表	まちづくり	
松 岡 良 昭	一般社団法人高知県木材協会 コーディネーター		オブザーバー
中 平 英 明	高知県森林組合連合会 奈半利共販所 所長		オブザーバー

BLUE
FOREST
BLUE
OCEAN

安芸市流域森づくり構想

～森から海へ、すべての人にその恩恵が行き渡るまちづくり～



発行日 令和6年(2024年)3月

作成 高知県安芸市

編集 安芸市森林整備促進協議会

事務局 安芸市農林課
〒784-8501 高知県安芸市土居82-1
TEL.0887-35-1016